

編集後記

紅葉の候 皆様いかがお過ごしでしょうか。幅広くかつ興味深い内容の第 2 号をお届けします。骨格筋収縮に関与する弾性タンパク質に関する総説ではじまり，原著論文では，中途退学者の成績特性の分析，誤嚥性肺炎を合併した大腿骨近位部骨折患者の臨床的特徴と帰結，物忘れを主訴に神経内科を受診した患者における海馬の萎縮および脳血流と神経心理学検査の関係，そして入院高齢心不全患者の 6 分間歩行距離は転倒リスクの有無を推定する，など学生教育を含めた保健学の守備範囲を網羅した内容となっています。

それぞれの専門領域にとどまらず，保健学という広い視座に立ち，貴重な経験や示唆に富む知見をこのように共有できることに，大きな感謝と喜びを感じます。本号が皆様の活発な交流の場となりますよう，よろしく願い申し上げます。

2017 年 10 月 1 日

副編集委員長

大歳 太郎（関西福祉科学大学）